|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 番号 | 見出し／本文 | やさしい日本語 |
| 58 | 避難所にいる子どもへの気配りをお願いします | （にげるところ）のどものためにできること |
| 今回の災害で、子どもたちの中には親と離ればなれになっていたり、一日中、子どもだけで過ごしていることがあると思います。親と一緒にいて、会話しているか、親がいなくても誰かが世話をしているか、周りの人が気づかってください。大人が落ち着いて、子どもに話しかけたり、話を聞いたりするだけで、子どもの心は安定します。 子どもに孤立した感覚をもたせないために、この時期に重要なのは、子どもたちが安心してできる手伝いなどの役割を与えたり、きちんとできる物事（達成感や自分の存在を確認できるもの）を与えてあげることです。 | (にげるところ）にいるどもをさせてください。でになったこどもがいるかもしれません。（にげるところ）にはといっしょでないどももいます。がやさしくしかけたりやさしくをきいたりするとどもはします。まわりのがさせてくださいこどもをさせるためにのことをしてください。●こどもにゆっくりしかけてください。●こどものをいてください。●どもにできるしごとをさせてもいいです。どもができるように、をつけてあげてください。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 番号 | 見出し／本文 | やさしい日本語 |
| 58 | 避難所にいる子どもへの気配りをお願いします | 避難所（ひなんじょ・にげるところ）の子（こ）どものためにできること |
| 今回の災害で、子どもたちの中には親と離ればなれになっていたり、一日中、子どもだけで過ごしていることがあると思います。親と一緒にいて、会話しているか、親がいなくても誰かが世話をしているか、周りの人が気づかってください。大人が落ち着いて、子どもに話しかけたり、話を聞いたりするだけで、子どもの心は安定します。 子どもに孤立した感覚をもたせないために、この時期に重要なのは、子どもたちが安心してできる手伝いなどの役割を与えたり、きちんとできる物事（達成感や自分の存在を確認できるもの）を与えてあげることです。 | 避難所(ひなんじょ・にげるところ）にいる子（こ）どもを安心(あんしん)させてください。地震(じしん)で一人(ひとり)になったこどもがいるかもしれません。避難所（ひなんじょ・にげるところ）には親（おや）といっしょでない子（こ）どももいます。大人（おとな）がやさしく話（はな）しかけたりやさしく話（はなし）をきいたりすると子（こ）どもは安心（あんしん）します。まわりの大人(おとな)が安心(あんしん)させてくださいこどもを安心(あんしん)させるために次(つぎ)のことをしてください。●こどもにゆっくり話(はな)しかけてください。●こどもの話(はなし)を聞(き)いてください。●子（こ）どもにできるしごとをさせてもいいです。子（こ）どもが安心（あんしん）できるように、気（き）をつけてあげてください。 |